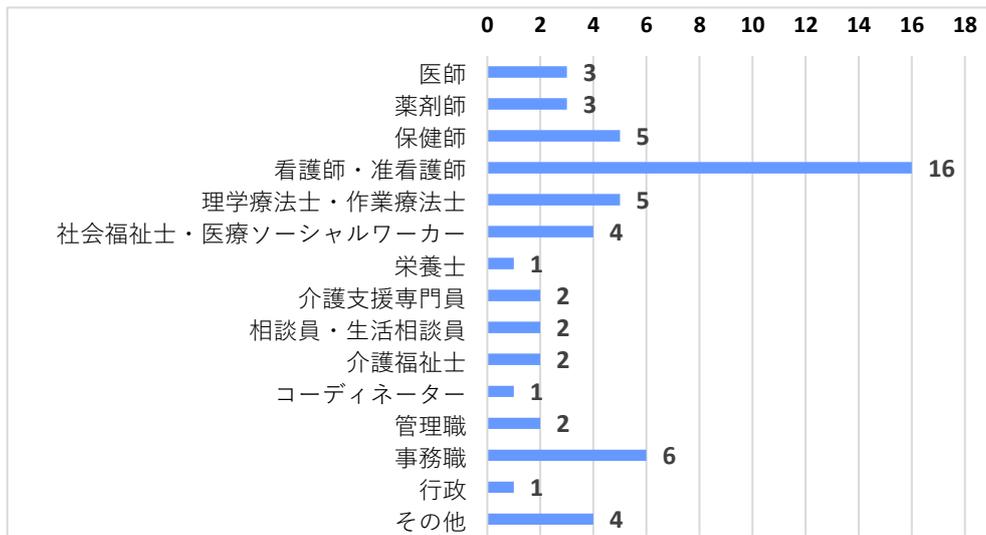


宇佐市在宅医療・介護連携多職種研修会アンケート結果

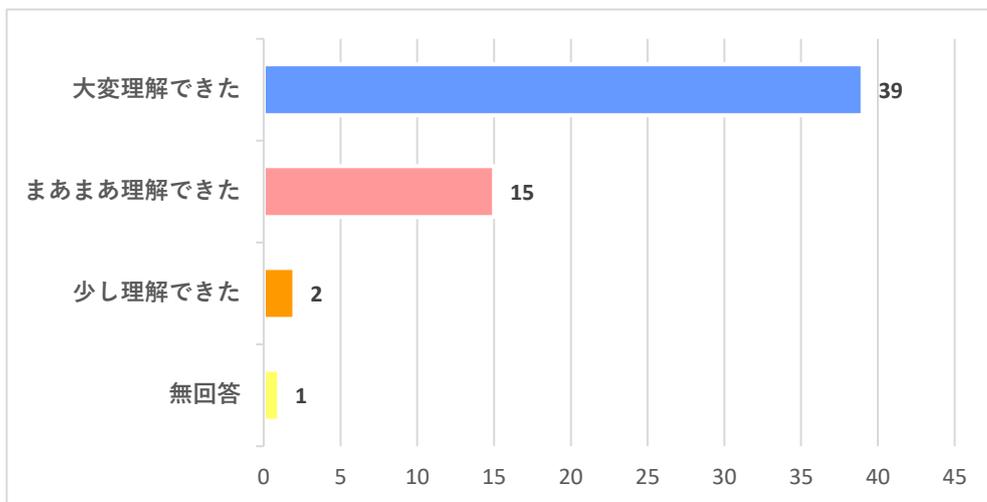
(第1回 心不全連携研修会 R6,1,22)

研修会参加64名(事務局7名除く) アンケート回答57名 アンケート返却率89.0%

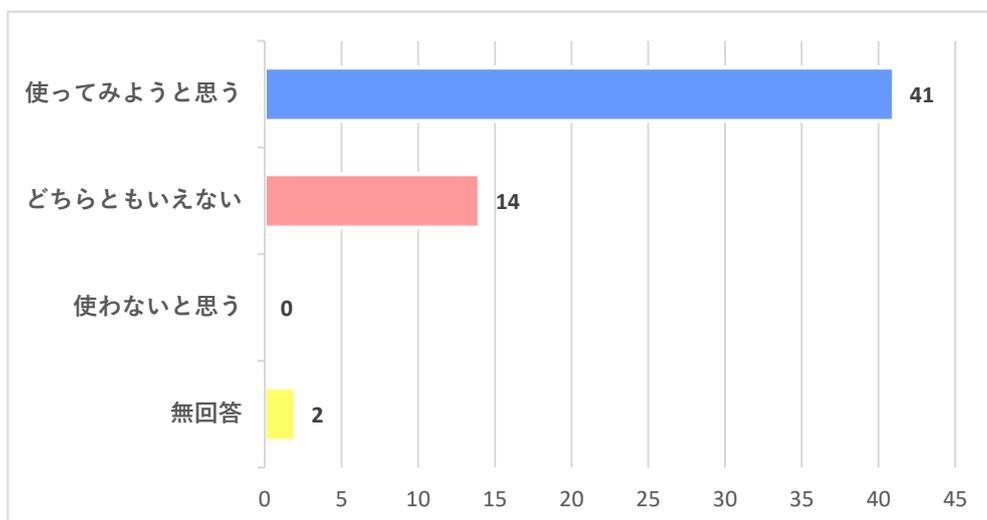
(1) アンケート回答者(人)



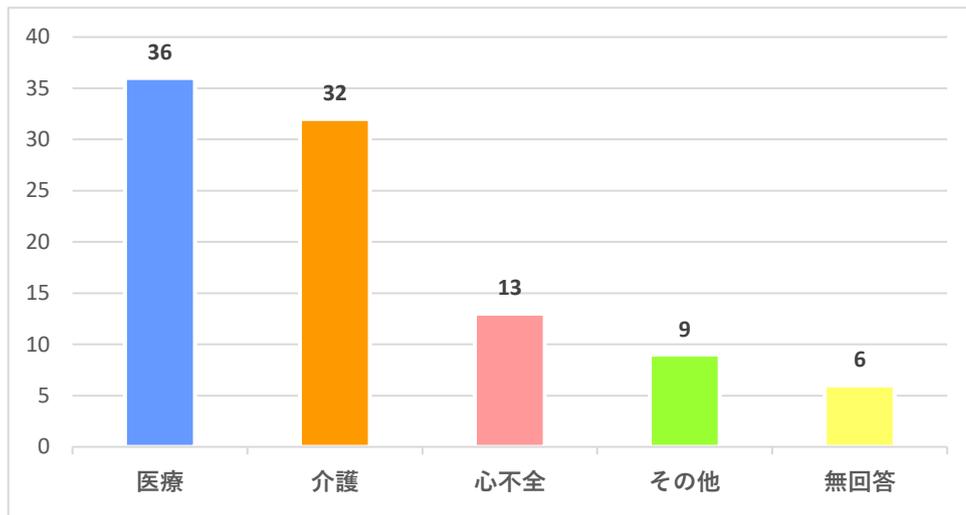
(2) 心不全ポイント「ハートノート・心不全ポイント自己管理用紙」の記録の仕方・予定外受診の理解は出来ましたか。



(3) 今後、心不全の患者さんに対応する時は、心不全ポイント「ハートノート・心不全ポイント自己管理用紙」を使ってみようと思いますか。



(4) 今後、取り上げてほしい研修会のテーマをお選びください。(複数回答あり)



その他の意見

- ・多職種連携（2件）
- ・介護保険サービスにおける施設間連携
- ・地域における医療と介護の現実と課題、市の対策
- ・予防
- ・他疾病
- ・糖尿病
- ・ACP
- ・グループワークがある研修

(5) 今後 医療・介護・福祉の連携について課題と思うことを記載してください。

【医師】

- ・ツールがない。
- ・連携が難しい事が課題。
- ・介護・看護する人々の不足。

【薬剤師】

- ・認知度（必要性・重要性）を上げていくこと。まだまだ実感していない人が多いので職場でも一人一人が周りに広めていく必要がある。

【保健師】

- ・在宅での高齢者の医療・介護→訪問診療が充実すると良いなと思います。
- ・顔の見える関係性。

【看護師・准看護師】

- ・連携は必要と考えますが、現実的に難しいとき多々あります。可能な限り多職種での連携を行っていきたいと思います。
- ・医師の参加が必要。ICT（同じツール、モバイル）。
- ・連携、顔の見える関係が大切だと思います。書面では書けない所がたくさんあると思う。
- ・連携により多様な理解が広がると思います。
- ・多職種同士での情報共有。
- ・顔の見える関係。
- ・認知症患者の対応。

【理学療法士・作業療法士】

- ・病院から在宅へ移行した際に、情報伝達が上手く行かないところだと思っています。
- ・情報共有の内容と方法が定まっておらず難航する。
- ・多職種連携がすごく大変だという事。
- ・多職種連携（特に院外での）。

【社会福祉士・医療ソーシャルワーカー】

- ・こういう会を重ねることで連携できる関係ができていくと思います。以前よりも壁を感じなくなりました。参加される機関が増えると良いと思います。
- ・心不全患者に限らず、医療・介護・福祉の連携、情報共有が出来ていない。ICTの導入。

【栄養士】

- ・難しい問題。ICT化して頂ければと思いました。

【介護支援専門員】

- ・それぞれが個々でするのではなく、情報共有する等。本人様にとっていい方向へ向かう事ができると思います。共有の大切さ、連携の必要性を感じています。

【相談員・生活相談員】

- ・多職種の為に、まずは部署内でのコミュニケーションを図りチームワークが大きいと感じました。

【介護福祉士】

- ・情報交換の場。やる気のある人だけでなく周りをどうやって巻き込むかだと思います。
- ・立場の違いによる意見の食い違いがあると思う。

【事務職】

- ・情報共有。
- ・多職種の連携はなかなか難しい。何回もディスカッションをする場が必要では。
- ・心不全ポイント自己管理表を知らない方も多いと思うので、まず様々な職種の方に知ってもらう事が大切だと思いました。
- ・気軽に相談できる関係作りと継続。

【行政】

- ・情報共有、多職種連携が難しい。

【その他】

- ・連携、言葉は素晴らしいがなかなか出来ていないと思う。特に医師との連携が難しいと思うが、そこが顔の見える関係作りとして大切だと思う。
- ・生活に関する情報（退院後や家の状況、本人の様子、家族のサポートがあるのか等）や病気について円滑に共有すること。顔の見える関係性は大切だと私も感じた。
- ・顔のみえる関係性が課題だと感じます。
- ・情報共有できる研修会が少ない。決まった人しか参加していない。心不全ノートは大変良いものと思いました。医療と福祉のツールになるのではと思いました。

(6) 本日の研修会で印象に残ったこと、ご意見、ご感想を教えてください。

【医師】

- ・分かりやすかった。
- ・あまりスキルアップにはならなかった。

【薬剤師】

- ・心不全ポイント自己管理がすごく良かったです。
- ・問題がとても勉強になりました。
- ・初めて知ることが多く勉強になりました。業務に活かせそうです。

【保健師】

- ・グループワークが楽しくできました。
- ・ハートノートやポイント記録用紙が、心不全管理に役立ちこのようなノートがあると家族にとっても安心だと思いました。
- ・グループで少し話せたことが良かった。

【看護師・准看護師】

- ・心疾患患者が増える世の中ですが、地域の方が元気で過ごせるような支援のために医療連携は必須です。今後も努力を重ねていけたらと思いました。

- ・とても分かりやすい研修会でした。他の職種の方の話を聞いて良かったです。
- ・心不全ポイントの記入の仕方・自己管理に対してとても分かりやすかったです。心不全についても分かりやすかったです。
- ・心不全の管理は本人の努力・管理が必要。増悪させない為に多職種でのフォローが必要だと思いました。
- ・心不全ポイントの使い方が良く分かりました。早期発見に繋がり大切な事だと思いました。
- ・初めて心不全について詳しく勉強する事ができました。とても理解しやすかったです。
- ・実際に心不全ポイントの体験が出来て良かった。心不全ポイントの導入方法が知りたかった。
- ・グループワーク、自己管理ポイントのつけ方等、とても分かりやすく楽しく研修できました。
- ・心不全ポイントが分かった為、受診に繋ぎやすい。
- ・多職種で話し合う事の大切さが重要と感じました。

【理学療法士・作業療法士】

- ・ハートノート・心不全ポイントという新しい知識を得られて良かった。
- ・患者様の症状を慎重に看る、聞く事が大切であるということを改めて知った。
- ・自覚症状の有無に注意して関わっていきたいと思います。

【社会福祉士・医療ソーシャルワーカー】

- ・顔の見える関係作り。ざくばらんなグループワーク楽しかったです。
- ・グループごとに話し合う機会が多く、多職種の方と話せて良かったです。
- ・心不全ポイント自己管理用紙は、認知症の方にはとてもありがたいものだなと思いました。是非活用していけたらと思います。

【栄養士】

- ・ハートノートのつけ方がわかり、とても勉強になりました。

【相談員・生活相談員】

- ・利用者の状態観察の重要性を改めて感じました。

【介護福祉士】

- ・グループワークはファシリテーターをつけないと難しいと思います。1時間30分のプログラムの中にグループワークを入れ込むのは無理があるかなと思います。役割分担（司会・書記・発表者）をきちんと分けないとグループがうまく回らないと思いました。
- ・心不全ポイントを知らなかったのでとても為になった。

【コーディネーター】

- ・とても勉強になりました。

【事務職】

- ・顔の見える関係性作りを研修会の中で行えていること。
- ・ハートノートというものがあることを知り、これはとても役に立つと思った。患者さんと家族の方々が協力しないとうまく活用できない。（よく理解してもらおう。）
- ・ハートノート、自己管理用紙が有ることが参考になりました。
- ・心不全ポイントについて初めて知ることができ、勉強になりました。
- ・心不全ポイントの普及をもっとしていけたら目安になっていいと思った。

【その他】

- ・心不全ポイントは前回の研修ではつけ方が分からなかった（初めてだった）が、今回2回目だったのでつけ方がわかってきた。
- ・「何が出来るか」より「どのように行うか」を一緒に考えていくという相手に寄り添った行動の大切さに気づいた。心不全についてこのように詳しく知ることができて良かった。自分も気をつけて行こうと思う。
- ・ハートノートがまだまだ普及していないと感じました。
- ・座学の研修の中にアイスブレイクで自己紹介や意見交換があったことが、顔の見える関係づくりを行う中では大変良かったと思います。